



株式会社

ドン・キホーテ
Don Quijote Co.,Ltd.

ひと目でわかる

2009年6月期 中間決算

グループの総力を結集し、独自の営業戦略を推進

消費環境が悪化する中で、時流に適應した営業戦略を推進。国内35都道府県216店舗の総合小売グループとなり、ますますその存在感を高めています。

※当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、前年比較に関する情報は参考データとして記載しています。

売上高

2,442
億円

ドン・キホーテ既存店の1.1%増収(客数3.1%増:客単価1.9%減)及び長崎屋のフル寄与により、売上高は前第2四半期比31.6%増の2,442億円と過去最高となり、連続増収を達成しました。

営業利益

83
億円

長崎屋のフル寄与などの増収効果があった一方、子会社の収益化過程に伴う販管費増で、営業利益は前第2四半期比11.5%減の83億円となりましたが、予想(79億円)を上振れて着地しました。

経常利益

64
億円

経常利益は、金融商品評価損の計上などにより、前第2四半期比36.4%減の64億円となりました。

四半期純利益

21
億円

第2四半期純利益は、前第2四半期比69.2%減の21億円となりました。

総資産

2,932
億円

業態転換に伴う商品構成の変化及び子会社増による商品59億円増加、敷金保証金5億円増加などにより、総資産は当第2四半期累計期間で169億円増加し、2,932億円となりました。

純資産

853
億円

純資産は当第2四半期累計期間で6億円増加し853億円となりました。なお、自己資本比率は28.7%となっています。

EPS

30
円

1株当たり第2四半期純利益(EPS)は30円となりました。

ROE

4.8
%

自己資本当期純利益率(ROE、年換算)は4.8%となりました。

お買上客数

9,596
万人

当第2四半期累計期間に当社グループ店舗をご利用いただきましたお客さま数(レジ通過数)は、9,596万人(国内のみ)となりました。

店舗数

220
店

当2四半期累計期間は、改装・業態転換に注力し、新規出店は2店舗に抑制。一方、ディスカウントストアを運営するビッグワン株式会社を子会社化し、グループ全体の2008年12月末店舗数は国内35都道府県216店舗、米国ハワイ州の4店舗を含めると220店舗となっています。

売場面積

535,156
㎡

当第2四半期累計期間はビッグワン株式会社の7店舗が加わった一方、事業の効率化を図るために8店舗を閉鎖したことなどから、2008年12月末時点の売場面積は、2008年6月末と比較して減少し、535,156㎡となりました。

中間配当金

10
円

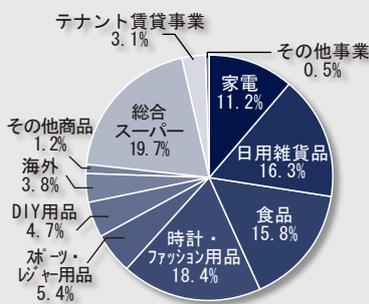
2009年6月期の中間配当は期初予定通り1株当たり10円で実施。中間配当を含めた年間配当は、1株当たり22円を予定しています。

商品点数

50,235
万点

当社グループが当第2四半期累計期間にお客さまの手許にお届けした商品点数は、50,235万点となりました。

商品分類別売上高構成比



株主数

6,346
名

株主数は前期末に比べて357名増加し、6,346人となりました。

株主分類別持株数構成比

